

# ほけんだより 9月号

令和3年9月6日  
荒川区立汐入こども園  
園長 大山 祐子  
看護師 大熊 トシ子

今年の夏は、急な天候の変化で雷や大雨が多かったように思います。また、新型コロナウイルス感染症拡大で、緊急事態宣言中のため帰省や旅行など行動も制限され、家族の皆様も大変な夏でもあったのではないのでしょうか？ワクチン接種が進み感染者が減り、子どもたちが元気に登園できることを祈るばかりです。

急に朝夕は涼しくなりましたが、夏の疲れが出やすい時期です。運動会や遠足など秋の行事に向けて、体調を崩さないよう気を付け残暑をのりきりましょう。

ただし、感染状況によっては、行事などの変更があります。ご了承ください。

## 9月9日は救急の日

9(きゅう)と9(きゅう)の語呂合わせで『救急の日』です。自宅近くのAED\*(心臓に電気ショックを与え働きを取り戻す機械)の設置場所を確認し、救急車の呼び方を、家族で話し合っておきましょう。

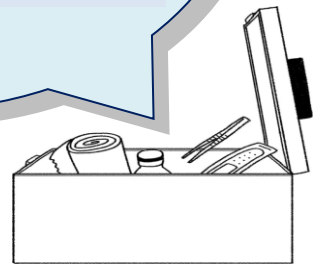
また、急な病気やけがをしたとき、「すぐ病院に行ったほうが良いか?」「救急車を呼んだ方がいいか?」など迷ったことはありませんか? そんな時は24時間対応している消防庁の相談窓口ご連絡してみましょう。

『東京消防庁救急相談センター』

#7119

### 救急箱の中を点検しましょう!

- 絆創膏  滅菌ガーゼ  包帯
  - 三角巾  綿棒  湿布薬
  - はさみ  ピンセット  とげぬき
  - 体温計  熱さましシート など
- その他常備薬など(有効期限に注意)



## 感染症情報とお願い

4歳児1名が新型コロナウイルス感染症にかかりました。現在、4歳児クラスは、13日月曜日まで自宅待機となり、濃厚接触者はPCR検査を受けています。

園内では、3歳児からマスクの着用をお願いしています。呼吸のしやすさから布マスクやウレタンマスクが多いですが、中には耳掛けの部分が伸びていたりして鼻が出ている子どもがいます。デルタ株になり子どもへの感染力が強くなっているため不織布のマスクをお勧めします。

子どもだけでなくご家族でも、体調不良や検査を受けた方がいましたら園にお知らせください。

保護者の皆様には、大変ご心配とご迷惑をおかけしていますが、感染拡大防止のために、ご協力をよろしくお願い致します。

## 子どもの自宅療養の注意点

子どもは、感染しても多くの場合は軽症ですが、中には悪化する例もあるので、\*顔色が悪い(唇の色が悪い)\*息苦しそう(肩で息をしている)\*食欲がないまたは、嘔吐を繰り返す など場合は、荒川区保健所またはかかりつけ医に早めに相談することが大切です。

感染したら自宅でも、子どもも両親もマスク着用が必要ですが、2歳未満は窒息の危険があるのでつけないでください。

- おむつを捨てる時はすぐにポリ袋で2重にする。使用したマスクやティッシュもビニール袋で密封する。
- 親子でもバスタオルの共用を避ける。可能ならば世話をする人は一人に決め、部屋を他の人と別にする。また、使い捨ての手袋や使い捨ての食器を使用し、入浴は最後に入る。